

株式会社ジェイコムイースト 相模原・大和局

2018年度 放送番組審議会 議事録

2018年度の放送番組審議会は、2019年2月20日(水)に相模原・大和局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

川上 宏 様 高橋 誠 様 竹田 幹夫 様 山口 和明 様
笹野 章央 様 武内 英雄 様 守屋 智浩 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(武内会長による進行)

◆地域情報の取り上げ方について

委員 番組に、より多くの子どもたちや市民が登場することで視聴者も増えると思う。イベントだけを取り上げるのではなく、「人」をクローズアップしてはどうか。また、放送日の周知もしっかりしていただきたい。

委員 人に焦点を当てた番組はあるのか？まちには多くの人材がいる。その人の歴史や背景などを深掘りし放送することで、次の時代に伝えるアーカイブともなる。地域メディアとしての役割なのではないか。

委員 お店の紹介も、例えば食べ物だけを紹介するのではなく、店主の歴史やストーリーを織り交ぜることで、視聴者を引き付ける番組になるのでは。

事業者 相模原・大和局エリアでは現在人を紹介する番組はないが、横浜・湘南エリアで「人図鑑」というタイトルで、人を紹介するトーク番組を放送している。有名な方ばかりではなく、さまざまな市民活動などをする人も幅広く出演しており、今後放送を検討していきたい。

委員 地元の人への気づきになるようなまち歩き番組を放送できないか。見ている人たちが、自分たちが住むまちに愛着を持ってもらい、近所の人たちと一緒に会話できるようなものが良い。昔と今のまちの変化を写真などで比べても面白い。

委員 地域を紹介する番組「激アツ！街かどタブレット大作戦」があるので、その中でもっと地域を紹介してもらっても良いのではないかな。

委員 自分の子どもだけでなく、地域子どもが番組に出ていると応援したくなるし、地域の愛着にもつながる。行政としては地域コミュニティの希薄化を危惧しており、実際に自治会加入率が下がっている。顔の見える地域を復活させたい。J:COMが目指す方向と同じではないかと思う。

事業者 以前はまち歩きの番組があったが、現在は制作していない。各エリアから散策番組への要望は強いので、デイリーニュース内のコーナーとして取り上げるなど検討したい。

委員 スポーツだけでなく、もっと文化活動を取り上げてもらいたい。例えば相模原は吹奏楽のレベルが高く、聞き応えがある。また、伝統芸能などは後継者がいない、公演に人が集まらないなどの問題がある。テレビでもっと取り上げてもらえれば盛り上がるのではないかな。

委員 愛川町は昨年より多くのイベントなどをニュースで取り上げてもらったが、まだ広く知られていない情報も多いので、ぜひJ:COMならではの視点で取材して欲しい。オーケストラの演奏会、合唱祭など文化行事も盛んなので、積極的に取り上げてもらいたい。

事業者 吹奏楽は神奈川県ケーブルテレビ協議会としての特番を検討している。どうしてもスポーツを取材することが多くなってしまいが、文化活動も今後幅広く取り上げていきたい。

◆統一地方選挙特番について

委員 4月の統一地方選挙はどのように放送するのか。

事業者 4月7日の相模原市長選、市議選、21日の大和市長選、市議選の開票速報を行う。市長選ではバンザイ等の生中継を入れる予定。

◆オリンピック・パラリンピックについて

委員 市内がロードレースのコースとなっている。沿道で大会をサポートする人を取り上げるなど、地域の人を引き付ける仕掛けができないかな。

委員 エリア内にブラジルやカナダの選手団が滞在する予定。市民との交流もあるので、

番組で取り上げることで大会の盛り上げにつながるのではないか。

◆出演の許諾について

委員 番組に出演する市民、特に子どもたちに許諾は取っているのか。

事業者 個別に承諾書を取ることはもちろんある。しかしニュース取材ではすべての人に承諾書等を出してもらうことは困難。ただし、イベントの主催者には必ず事前に了解を取っている。

◆初日の出特番について

事業者 今年初めて、元旦に神奈川の各地の初日の出をリレー形式で生中継した。今後継続するか参考にしたいので、意見を聞きたい

委員 お年寄りなど外に出られない人が初日の出を見られるのはとても良いと思う。ギオンスタジアムでも元旦に施設を無料開放して、市民による初日の出を見る会を行っており人気がある。

委員の皆様からの貴重な意見ありがとうございました。

以上